

水産物の市況について(令和3年10月及び令和3年11月)

—東京都中央卸売市場における令和3年10月(令和3年9月21日～令和3年10月20日集計)の市況と、
令和3年11月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和3年10月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや増加し、前年同月比では横ばいで推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比もやや強含みで推移しました。

II 令和3年11月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

道東沖のまき網漁が10月末で終漁したことから、当面産地の水揚量は減少すると見込まれ、東京への入荷量も減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀さけ主体に横ばい、卸売価格は、チリ側の輸出単価が上昇していることから、やや強含みで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

水温の低下により三陸沖の漁獲が徐々に上向くと予想され、東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

全国的に漁獲は低調な状態が続くと予想され、生鮮物の東京への入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。冷凍物は、東京への入荷量は生鮮物が少ない分増加するものの、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東シナ海・三陸では徐々にさば漁に切り替わると予想され、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

緊急事態宣言が解除され、外食需要は徐々に回復すると見込まれます。東京への入荷量はやや増加し、卸売価格は冷凍めばち・きはだを主体に横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

漁期終盤で水揚量が徐々に減少すると見込まれ、東京への入荷量も減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

漁期が進むにつれて東京への入荷量はやや増加すると見込まれるものの、水揚げが低調なことから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	10月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
3年	30	1,153	28	1,093	26	1,155
前年	30	1,111	30	1,069	28	1,078

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2: 入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	10月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	479	95	94	141
さけ類(平均)	1,045	114	127	111
(ぎんざけ塩蔵品)	961	107	125	102
(あきさけ塩蔵品)	604	65	77	68
(べにざけ塩蔵品)	1,290	81	90	109
(さけ類冷凍品)	1,061	118	135	117
さば(生鮮品)	562	108	129	105
するめいか(平均)	813	90	104	97
(生鮮品)	813	88	102	94
(冷凍品)	813	100	116	107
あじ(生鮮品)	541	96	86	85
まぐろ(冷凍品)	1,689	100	132	111
(めばち冷凍品)	1,287	101	146	113
(きはだ冷凍品)	1,177	109	140	127
(くろまぐろ冷凍品)	3,106	97	104	95
(みなみまぐろ冷凍品)	2,051	107	124	107
かつお(生鮮品)	655	171	102	88
さんま(生鮮品)	962	90	71	164

注1: 品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2: 10月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成28年～令和2年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613